

～ 院長コラム ～

検査では異常がないと言われたが

「検査では異常がないと言われましたが、ずっとゲップ、胃のもたれが取れません」

「内科の先生に薬を処方してもらったんですが治らないので、もう1回受診してきました。また、同じ訴えを言ったら気のせいじゃない？精神科を紹介しようかと言われちゃいました。

どうしたらいいでしょう？」

こんなケースは日常によくある光景です。

患者さんは困っているけれど西洋医学的には問題ない、薬も出し方が有効ではない、....

医師側も困ってしまうんですね。

こういう病態には漢方薬を試みましょう。

自律神経失調症なんて、わけのわからない病名をつけられて、病院をたらい回しされたら余計に患者さんは悪化します。

現在飲まれている胃薬などはそのまま続行でも結構です。

試しに、六君子湯（りっくんしとう）、人参湯（にんじんとう）、半夏瀉心湯（はんげしゃしんとう）などから1つを2週間試してみましょう。

冷えて胃腸虚弱ならまず六君子湯です。

食欲不振があれば、まずこれです。

甘く飲みやすい漢方薬ですから、お湯で味わって飲んでください。

少しでも気分よく飲めるな—と思ったら、続けてください。

2週間飲も終わる頃には、最初の訴えが軽減しているはずですよ。

こういうシリーズの漢方薬は各分野であります。

検査で異常がないけど、「ノドがつまる」、「胸がつまる」、「おなかがつまる」、「めまい、ふらつきが止まらない」、「吐き気が止まらない」、「頭痛が続く」等。あきらめないでくださいね。

漢方ファン

— Vol. 2 (2016年10月) —



なかしまこどもネット QRコード
※名前を入力して送信して下さい



こども健康ネットブログ
QRコード

 なかしまこどもクリニック